

社会福祉学研究科

修士論文・博士論文の審査基準について

A 修士論文審査基準

・修士論文の審査については以下の観点から行います。

- 1) 問題設定は適切かつ明確であるか
- 2) 問題設定に対して適切な方法が選択され実行されているか
- 3) 結論に至るまで一貫した論理構成がなされているか
- 4) 論述や表記の仕方は的確であるか
- 5) 設定した問題の解明は十分になされているか
- 6) 当該領域にとって有益な知見を含むものであるか

B 博士論文審査基準

・博士論文を提出する前提として予備審査に合格しなければなりません。そのためには、博士論文につながる研究論文で、本人が単独または筆頭執筆者である論文2編が、査読を前提とする学術誌において公刊※されていることが必要であり、その論文を添えて予備審査を申請しなければなりません。

※ 当該学術誌の編集者により、出版予定論文として受理されたことが証明できる場合を含みます

・博士論文の審査については、以下の観点から行います。

- 1) 問題設定は適切かつ明確であるか
- 2) 問題設定に対して適切な方法が選択され実行されているか
- 3) 結論に至るまで一貫した論理構成がなされているか
- 4) 論述や表記の仕方は的確であるか
- 5) 設定した問題の解明は十分になされているか
- 6) 新規性・独創性がみとめられるか
- 7) 当該領域の発展に寄与するものであるか